

里山の資源を活用した工作

銭宝地域の里山には、工作できる資材がいろいろあります。

この度は、八色石集落の竹添さんが、横浜のベイブリッジをイメージしたかずら橋を
工作され、銭宝寄り合い処に展示されております。

里山に生息するかずらには、葛のかずらや藤のかずらがあります。かずらのまっすぐ
なところを橋げたの吊り上げケーブルとし、土の中の柔らかく曲げ伸ばしができる根の部
分を橋げたに、かずらの幹の部分で橋脚に活用され、横浜ベイブリッジを頭に描きなが
ら、作品を作り上げられました。

また、布施公民館に展示されてあるかずら作品も、竹添さんが作られました。

銭宝寄り合い処の展示品



竹添さん(右側)と住民とのかずら話



布施公民館の展示品

